

野田村発 138 億光年宇宙の旅

— つながっている宇宙・社会・いのち —

「上を向いて歩こう」、「見上げてごらん夜の星を」・・・皆さんは、つらい時 や悲しい時に夜空を一人で見上げてみたいと思ったことはありますか？

信州の田舎で過ごした青春時代にそうやって何度か救われた気持ちになったことが私にはあります。その一方、家族や親しい仲間と一緒に満天の星空を見上げて、とても幸せな気持ちを味わえたこともあります。一人で対峙して自分の過去や未来と語り合う時間も、多くの人たちと共感しあう瞬間も、満天の星空ほどかけがえのない存在はありません。日常を離れ、星を見ながら自分自身や他者と対話する素敵な「星空体験」を今日は楽しみましょう。

一方、星を研究することは、世の中と全くかけ離れたことではありません。宇宙を見ていると、「地球はなんて素晴らしい星！」と実感させられます。宇宙の中で、地球が存在すること自体、奇跡と感ずるのです。宇宙はどうなっているか？他の星にも生物はいるのか？宇宙でどのように生命が生まれてきたのか？天文学は、いま、そのような根源的な謎を解き明かそうとしています。これが分かれば、一人一人の生き方、考え方、社会の進むべき道の何らかの手がかりとなるにちがいありません。

プログラム

開会挨拶 渥美公秀 大阪大学大学院教授

18:30 野田村発 138 億光年宇宙の旅

— つながっている宇宙・社会・いのち —

講師：縣 秀彦氏（国立天文台准教授・普及室長）

20:00 終了

講師紹介：縣 秀彦氏（あがた ひでひこ）

1961 年長野県生まれ。信濃大町観光大使。

東京学芸大学大学院修了（教育学博士）。東京大学教育学部附属中・高等学校教諭等を経て 1999 年より国立天文台勤務。

現在、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

国立天文台 天文情報センター・准教授/普及室長

国際天文学連合・国際普及室室長、天文教育研究会会長など。

著書に「面白くて眠れなくなる天文学」（PHP 出版）、

「地球外生命は存在する！」（幻冬舎）

「オリオン座はすでに消えている？」（小学館）など

NHK ラジオ深夜便「ようこそ宇宙へ」を担当、

NHK 高校講座「地学基礎」にも出演中。

主催：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

共催：大阪大学人間科学研究科附属 未来共創センター

後援：野田村、チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会
国立天文台震災復興データセンター

問い合わせ先

大阪大学野田村サテライト

住所：野田村大字野田 22-114-49

TEL：0194-75-4221

HP：<http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/>

12 月 11 日(月)

18:00~20:00

場所：野田村生涯学習センター



RESPECT

参加
無料